

襖とハリマ産業を知ってもらいたくて

# ハリマニュース



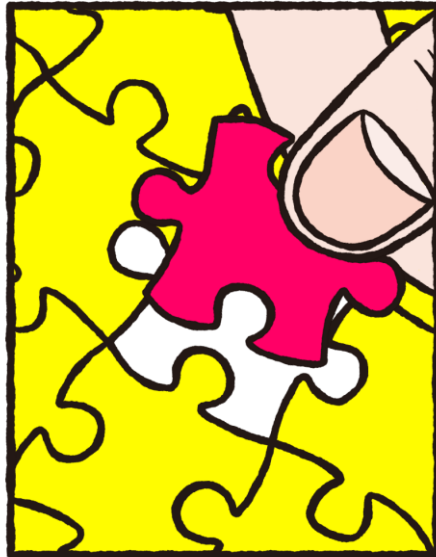
新刊

02

2018  
Spring

ハリマ産業株式会社 〒270-2241 千葉県松戸市松戸新田129-1

TEL : 047-368-2511 / FAX : 047-368-0204 / URL : <http://www.harima-sangyou.co.jp/>



## ごあいさつ

平素より格別のご愛顧を賜り、誠に有難うございます。また、先般お届けしました「ハリマニュース 創刊号」に沢山のお声をお寄せ下さり有難うございました。「読んだよ」というお電話やメール、大変励まされました。その中でも、株式会社黒田屋商店様より頂きましたマーケット資料は大変勉強になりました。様々な営業努力で掘り起こしをすれば、襖はまだまだ十分な仕事量があるとわかり、久々に前向きになれました。ニュースレターをスタートして良かったと感じました。皆様には、今後ともお力添えの程、何卒宜しくお願い致します。

ハリマ産業株式会社 代表取締役 大久保 謙一

## RELEASE 【襖紙の見本帳】 「のぞみ」 「凜」 6月発売！

2018年6月、2冊の見本帳が新しくなります！

「のぞみ」 第5集 発行元：株式会社東京松屋 / 前集：第3集(平成19年発売)

「凜」 第2集 発行元：ルノン株式会社 / 前集：第1集(平成22年発売)



フラッシュ・障子のカタログが登場！

### HARIMA ROYAL SELECTION -ハリマロイヤルセレクション-



「襖屋がフラッシュ?!」と、よく驚かれます。ハリマ産業のフラッシュ製造の歴史は古く、かれこれ30年になります。平成元年よりスタートし、施設や店舗向けに販売・取付工事を行ってきました。近年はNC導入によってきめ細かな加工が可能となり、大変好評を頂いております。ハリマ産業のフラッシュを何卒宜しくお願い致します。※カタログの配布は5月中旬を予定しております。

(写真)ハリマ産業「製作事例集」より



## CALENDAR 2018

### 5月 クールビズスタート

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休業日

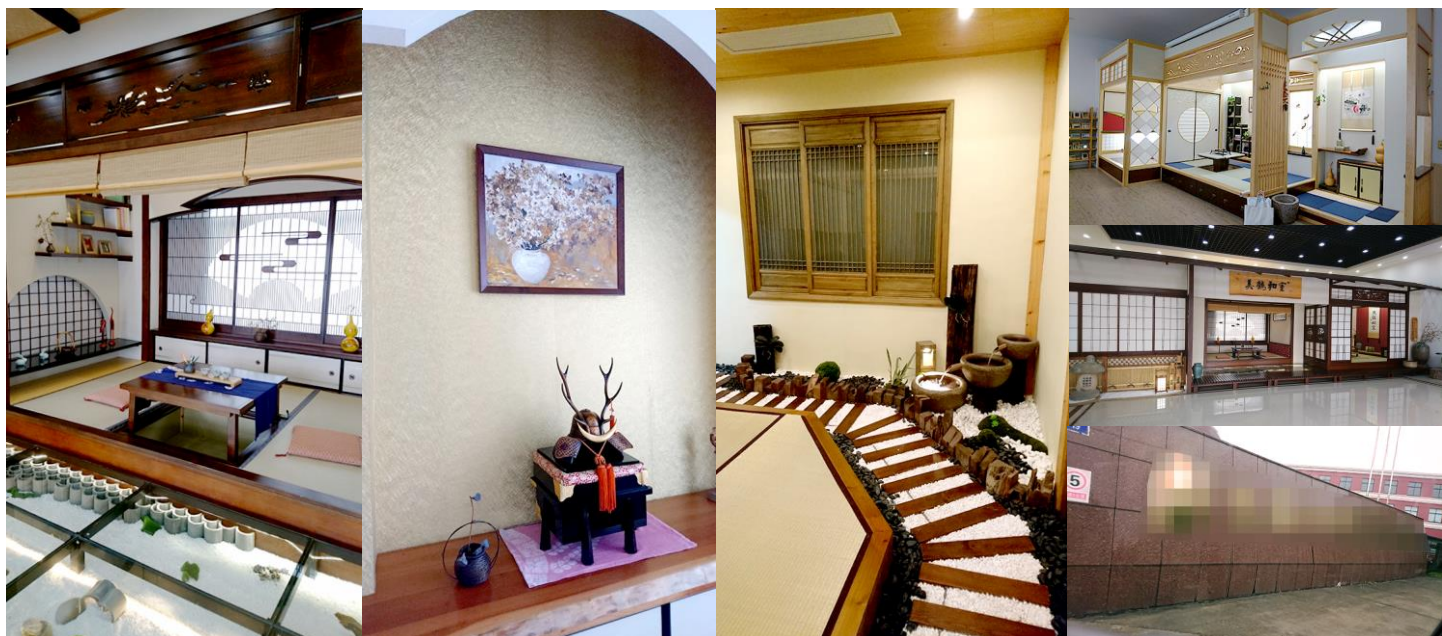
### 6月 工場見学、大歓迎!

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

### 7月 お盆前「張替」殺到!

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## Follow-up 中国和室の写真をご提供頂きました！



「ハリマニュース 創刊号」でご紹介した「中国人による、山水柄の襖紙の爆買い」について、ウォールボンド工業株式会社の岡野様より情報提供を頂きましたので、ご紹介いたします。中国で「和室」は高い人気があり、和室の構成材（建具・畳・装飾品等）を扱う会社はかなりの規模まで成長しているそうです。また、中国製の和室はヨーロッパにも輸出されているそうなので、欧州人がもつ和室のイメージは、もはや本家日本のものではなくなっているかも知れませんね。大変興味深い情報をありがとうございました。

## TOPIC 「和紙調クロス」と「張替フランチャイズ」の台頭

昨今、クロスメーカーの「和紙調クロス」が大人気だ。襖紙の風合いがとても上手く表現されており、一見ただけでは判別できない。クロスならではの機能性も加わり人気を博している。特筆すべきは「デザイン」だ。現代住宅における襖の柄は、無地か、あっても「山水・花鳥」といったシンプルなものが殆どだろう。

「和紙調クロス」には色彩豊かで、ファッショナブルなデザインが多い。これは何も奇を衒っているのではない。これもまた襖の持つ本来のイメージに外ならず「伝統的」なのだ。

襖はただの間仕切ではなく、インテリアとしての立ち位置でもあった。襖紙を張り替えることは、クロスを張り替えるが如く、生活空間に新鮮さや楽しさを齎すことだった。「無難」ではない「和紙調クロス」には目を見張るものがある。



和紙調クロスの貼分  
「16-18 リザーブ1000」\_(上)RE3262,(下)RE3261  
株式会社サンゲツ

外国人たちが期待している「和」は、日本人のそれより派手な傾向にあるが、勘違いしたのではなく、純粋に素敵だと感じたものを「日本の和」だと信じた、というのはどうだろう。もう一つ注目したいのが、「フランチャイズ」の登場だ。ご存知の方も多いと思う。

「張替」を主として営業している。襖業界は縮小方向だが、リフォーム市場となったことで「襖」をチャンスとみる人々もいるということだ。同業者として、協力し合っていけたらと思う。

## INFORMATION

専用連絡先：[info@harima-sangyou.co.jp](mailto:info@harima-sangyou.co.jp)

### 「ハリマニュース」定期刊行について

今後、情報誌『ハリマニュース』は、定期発行を予定しております。（1・4・7・10月の年4回）

### 皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい

掲載内容についてのご意見・ご感想をお寄せ下さい。建具に関する内容については、弊社の思い込みによる間違い、また地域差もあると考えております。ご指摘頂ければ励みとなります。